

編集後記

4年制大学への進学率が40%近い状況のなか、いま大学入試を取り巻く状況は、以前にも増して見直しや変革が求められています。

特に大学入試センター試験の在り方については、今回の第17期中央教育審議会の答申にも盛り込まれ、現在大学審議会においても検討されているところです。

大学入試センターとしては、これらの大学入試が検討されている状況を注視し、今後も大学入試センター試験のよりよい在り方、さらにはより万全な体制での試験の実施に向けて取り組んでいるところです。

このような状況を踏まえ、本号では大学の先生方に研究ノート及び事例紹介として研究内容の一部をまとめていただくとともに、大学入試センター研究開発部の各教官による報告等において学力低下に関する問題の調査報告や外国での入試制度について、前号に引き続き取り上げています。

本号の発刊に当たり、お忙しい中、ご執筆いただきました先生方には心からお礼申し上げます。